

# (第75回) プロジェクト・制度評価分科会の評価結果について



NO.	2-8			
事業名	「NEDO先導研究プログラム（うち、エネルギー・環境新技術先導研究プログラム、新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム、未踏チャレンジ）」（中間評価） 新MS部			
委員構成、ポートフォリオ	委員名	NEDO委員歴		
		前身 事業	事前 評価	中間 評価
<p>本事業は、2014年度より開始され、脱炭素社会の実現や新産業の創出に向けて、2040年以降（事業開始から15年以上先）に実用化・社会実装が期待される要素技術（技術の原石）を発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげていくことを目的とする。事業継続評価の観点により前回中間評価を担当された委員を中心に、技術シーズの発掘・育成及び事業化の観点により、スタートアップ創業者、投資事業者、民間企業経験のあるアカデミアを新たに委員選定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分科会長は、都市エネルギーシステムの研究に従事され、本事業にて過去2回、中間評価の分科会長を務められ本事業をよく理解されている。</li> <li>産構審委員やJSTさきがけ総括、本事業採択テーマ審査委員のご経験等をお持ちで、国プロ化への道筋への知見を有している。</li> <li>ナノテク・材料/無機材料、固体物性に高い専門性と、理学から工学にわたる幅広い知見を有している。学内ベンチャー企業を設立した経験も有している。</li> <li>環境・エネルギー分野関連の政府審議会委員等を歴任し、政策動向や国際動向にも精通。スチュワードシップコードの知見も有している。</li> <li>民間企業からの出向で、多岐にわたる実用化・事業化を見据えた研究マネジメント経験を有している。</li> </ul>	下田吉之分科会長 大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 教授	○		○
	関根泰分科会長代理 早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 応用化学科 教授			○
	竹中康司委員 名古屋大学 大学院工学研究科 応用物理学専攻 教授 兼 株式会社ミサリオ 代表取締役社長			
	田中加奈子委員 アセットマネジメントOne株式会社 スチュワードシップ推進グループ シニア・サステナビリティ・サイエンティスト 兼 国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 客員研究員			
	戸井田康宏委員 横浜国立大学 研究推進機構 特任教員（教授）			
評価コメント				
肯定的意見	今後への提言			
<ul style="list-style-type: none"> <li>先導研究プログラムの全容、それぞれの位置付け、目指すところなどが明確であり、外部環境の変化に対応できるように整えられている。過去のプログラム構造も見直し統合化を図るなど事業効率化も進めている。</li> <li>情報提供依頼（RFI）を活用することなどにより、技術シーズを幅広く収集している。採択テーマは有望技術の育成に繋がり、技術の実用化・社会実装までの道筋が示されている。</li> <li>社会の動向や情勢をふまえ、RFIの活用とプログラムオーガナイザーの助言など先導研究プログラム内で、外部環境の変化と社会影響の考慮が十分されると考えられる。</li> <li>前回中間評価の結果なども適切に反映され、JSTなど他のファンディングエージェンシーとの連携、事業体制・期間・年齢制限などの見直し、不採択案件も含めたデータベースの作成など特筆すべき優れた取組が見られる。さらに、ビジョナリー・インキュベーション・プログラム（VIP）を開始し、産学連携体制の構築のための施策も実施していることは高く評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争の激しい領域では海外へのアイデア流出も危惧されることから、引き続き、情報管理については慎重に取り扱いつつ、今後は、研究開発内容を公開して、他の研究者と情報交換や民間企業を巻き込むなど、技術を育成することを期待したい。</li> <li>研究マネジメント全般において、DOD/DARPAなど海外機関の動向を常に注視し、研究開発の国際競争力を維持することが期待される。</li> <li>広報については、企業にとっての参画の魅力が伝えきれているか、参画の障壁はないか、ターゲットを広げるためにどうすればよいかなどをレビューし、更なる応募の拡がりが出るような工夫と検討が必要と思われる。また、今後の活動において、民間企業の積極的関与が重要であるため、VIPの実施などを通じたマッチングによる産学連携体制の構築をさらに促進させることを期待したい。</li> </ul>			